

2015年1月19日  
イオン株式会社  
イオンモール株式会社

## イオンモールは継続的に進めるユニバーサルデザインのスパイラルアップが評価され「第8回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」受賞

イオンモール株式会社（以下、当社）は、「第8回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」（以下、同賞）に選ばれ、1月16日（金）、国土交通省において表彰されました。同賞は、バリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人または団体を表彰するもので、2008年より実施され今年で8回目となります。

イオンは、すべてのお客さまに安全で安心なお買物をお楽しみいただくため、20年前から全店でハートビル法の認定を目指してきました。その方針のもと当社では「イオンモール・ユニバーサルデザイン・ガイドライン」を独自に作成し、ショッピングモールのユニバーサルデザイン化に取り組んできました。

また、学識経験者や障害者団体等からの意見を設計段階から取り入れるほか、開店後にアンケートを実施しその後の新規モールに生かすなど、継続してユニバーサルデザインのスパイラルアップを図っています。

今後も当社は、ご来店されるすべてのお客さまに、より快適で安心感に満ちた時間をすごしていただけるショッピングモールを目指してまいります。

### <評価をいただいた取り組みの一例>

- ・イオンレイクタウン（2008年オープン）は、広大な建物が3つに分散するなかで学識経験者を交え様々な取組みにチャレンジするとともに、障がい者団体との協議を重ねながら意見を取り入れた店舗設計を実施
- ・イオンモール東久留米（2013年オープン）は、今後の高齢化社会への対応の検討、大学との産学連携や社会貢献、地域との連携などを実施
- ・イオンモール幕張新都心（2013年オープン）は、広大な面積に複数棟からなる建物・立体駐車場の棟別にサインカラーを揃え、サイン・誘導について高齢者等にも見やすいコントラストや配置とし、エレベーター内にも通常より大きいボタンを設置するなど視認性や利用しやすい工夫など、今までの研究や取組みを活かしつつ、利用者の利便性向上を推進
- ・イオンモールの核店舗の総合スーパー「イオン」では、高齢者や介助が必要な方が安心してお買い物ができるよう、従業員にサービス介助士の資格取得を推奨し、介添えが必要な方へのサービス向上に取り組む

### <表彰式の様子>



### <受賞の賞状と楯>

